



# 病院だより

NO. 262  
Spring  
2020.4



新任医師のご紹介 .....	2	INFORMATION .....	6
特集 新診療部長 .....	3	あなたの街のお医者さん .....	7
NST(栄養サポートチームはどんなことするの?) .....	4	新型コロナウイルス(COVID-19)における当院の対応 ..	7
病院のできごと .....	6	れんけいニュース .....	8
産婦人科 WGの内容 .....	6		

**病院の理念**  
 良質な医療の実施  
 親切的な医療の実施  
 信頼される医療の実施

## かかりつけ医とはなんだろう？

健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介していただける身近にいて頼りになる医師のことを「**かかりつけ医**」と呼びます。日頃のみなさんの健康状態を熟知していて、気軽に相談できる「かかりつけ医」。精密検査や入院が必要になったときは、専門医へご紹介していただけます。検査や急性期の治療後はまた、「かかりつけ医」にて日ごろの健康管理をお願いしております。

当院への受診の際には、かかりつけ医より「紹介状」をお持ちいただくと、よりスムーズに診察ができますので、ご用意をお願いいたします。皆さまのお近くの医院（診療所）をさがしてみましよう。

かながわ医療情報検索サービス | 検索



HOME PAGE

# 新任医師のご紹介

## The introduction of new doctors

新しい先生をご紹介します。



の だ あつし  
**野田 淳**

消化器内科  
昭和大学  
平成28年

患者さまのために尽くせるよう邁進してまいります。



みや お なお き  
**宮尾 直樹**

消化器内科  
東海大学  
平成25年

地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



たか むら たけし  
**高村 武**

循環器内科  
横浜市立大学  
平成6年

親しみやすく善良な地域医療を提供できるように頑張ります。



もり あずさ  
**森 梓**

腎臓・高血圧内科  
浜松医科大学  
平成24年

新しい環境でスキルアップを目指したいと思っています。併診等お気軽にお声がけ下さい。



ほり ごめ まり  
**堀米 麻里**

腎臓・高血圧内科  
横浜市立大学  
平成29年

日々の診療に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



とく だ とし き  
**徳田 敏樹**

外科  
慶應義塾大学  
平成23年

地域の皆様と信頼関係を築き、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。



ほう けい せう  
**方宇 慶蒼**

外科  
慶應義塾大学  
平成30年

初期研修を修了したばかりでまだまだ未熟者ではありますが、手術を中心に多くを学び良い外科医になれるように頑張ります。



すし の あさ ひ  
**筋野 朝陽**

整形外科  
東京医科大学  
平成29年

整形外科を選択し2年目になります。スポーツが好きなので弥生台周辺を走っているのを見つけましたら、気兼ねなく声をかけてください！未熟な点も多いと思いますので、よろしくお願い申し上げます。



た なべ まさる  
**田邊 優**

整形外科  
東邦大学  
平成30年

まだまだ駆け出しの身ですが、一人前の整形外科医を目指して日々精進いたします。よろしくお願いいたします！



かり べ じゅり い  
**苅部 樹里衣**

泌尿器科  
横浜市立大学  
平成30年

まだまだ未熟者なのでご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



おか だ ひろ ゆき  
**岡田 浩幸**

眼科  
北里大学  
平成30年

初期研修に引き続きよろしくお願いいたします。精一杯頑張ります。



し 氏 名

担当診療科  
卒業大学  
卒業年

4月からの意気込み……………  
……………  
……………  
……………



昨年4月から外科担当部長（化学療法室担当部長）を拝命し、他医師と共に手術加療、内視鏡治療、化学療法に身を引き締め、一層努力しております。

surgery



化学療法室担当部長  
富田 真人  
とみ た まさと

略 歴

1995年 東京医科大学医学部医学科卒業  
慶應義塾大学病院 外科  
稲城市立病院 外科  
伊勢原協同病院 外科  
慶應義塾大学病院 一般消化器外科助手  
セコメディック病院  
外科・救急、千葉県船橋市ドクターカー勤務  
慶應義塾大学病院 一般消化器外科助手  
2007年 国際親善総合病院 外科医長  
2019年 同 外科担当部長

【認定医・専門医・資格】

日本外科学会指導医  
日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会指導医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本静脈経腸栄養学会（日本臨床栄養代謝学会）TNT  
マンモグラフィ読影認定医  
がんのリハビリテーション研修課程修了

我々外科以外の科でも癌を取り扱う科では集学的癌治療の一環として手術加療以外の化学療法が重要な位置を占めております。一言に化学療法と言っても術前化学療法、術後補助化学療法、切除不能もしくは転移再発に対する化学療法など多岐にわたります。また医学の進歩により、たとえ切除不能もしくは転移再発病変であっても良好な成績を得られるようになってきております。薬剤の種類によっては入院による管理を要する場合がございますが、



Masato Tomita

可能な限り患者さまの生活スタイルを重視して通院による外来化学療法を積極的に施行しております。当院では2013年9月から外来化学療法室を設置して、年間総施行件数はここ数年、547件、639件、704件と年々増加にあり、昨年度は805件となりました。これからも安全を第一に安心できる化学療法室であるように努めてまいります。

呼吸器外科の常勤医として赴任いたしました。地域医療に尽力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

当科では肺がん、転移性肺腫瘍、気管・気管支病変、縦隔病変、気胸、胸部外傷、手掌多汗症などを対象として、これらの診断、治療の提案と選択、外科治療を行います。受診動機は検診や日常的診療上の胸部異常影、ほかの呼吸器症状、日常の支障を来す手掌の発汗過多などです。肺がんを例としますと、近年本邦の罹患数は年間約12万人、手術も4万件超と増加し、その手術数の約12%が80歳以上の方が占めるまでになっております。患者さまと十分に相談し、関連診療科と安全に努め、胸腔鏡を用いるなど患者さまの負担が少ない外科診療を行います。

ご挨拶



なる け まさ お  
成毛 聖夫  
呼吸器外科  
東海大学  
平成3年

伝統ある当院で常設診療科としてさらに皆さまのお手伝いをいたします。

# NST（栄養サポートチーム）はどんなことをするの？

NSTとは、入院された患者さんの病気が早く治るように、最良の栄養療法を行うためのスペシャリストが集まったチームです。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士から構成されます。うち5名のNST専門療法士がいます。NSTでは、具体的に以下のような取り組みを行っています。

**1** 入院して元気になるために、どんな食べ物でも食べて良いということではありません。病気によっては食事制限が必要なことがあります。そのため、入院された患者さんの病気に合わせた栄養療法を提供します。例えば、高血圧の方には減塩食にし、糖尿病の方には適切なカロリーでの食事を提供します。

**4** 手術は身体にとっても大きなストレスがかかります。手術で回復するにはとても大きなエネルギーや蛋白質などが必要となります。そのため、手術で入院される方には、通常の食事によるエネルギー摂取だけでなく、手術の回復を促すための補助食品を付けた食事を提供します。



ラウンドの様子

**7** 口の中が汚れていると、誤嚥性肺炎の原因になったり、味覚障害の原因になったりします。歯科医師、歯科衛生士が中心となって、口腔内のクリーニングを行い、食事が食べやすい口腔内環境に整えます。

**2** 高齢になるにつれて、食べ物を飲み込む機能は弱くなってきます。また、脳卒中になった方も飲み込む機能が弱くなってきます。そのような方には、どんな形態の食べ物か誤嚥せずに飲み込めるかを言語聴覚士が中心になって評価します。その評価に合わせて、ムセないで食べることができる形態の食事を提供します。

**3** 脳梗塞や高齢者にとっては、普通の食器や箸などが持ちにくい場合があります。そのような場合には、食事が食べやすいような食器に変更し、食事が食べやすい姿勢を提案します。

**5** 薬剤には病気を治す効果だけでなく、副作用もあります。薬によって食欲が低下してしまう場合もあります。そのような場合には、食欲が低下するような薬剤の変更・中止できるかを主治医に相談します。

**6** 病気によっては食事が摂取できないこともあります。また、具合が悪く、食事のみでは栄養不足になってしまうこともあります。その場

NSTは毎週木曜日の12時から回診をしています。お困りのこと、相談したいことがありますしたら、どんなことでもご相談ください。

2019年12月から3階病棟ダイニングルームに「とろみボタン」付きのカップ式飲料自販機を設置しました。飲み込む際にとろみが必要な方がいましたら、是非ご利用ください。



とろみ自販機

## 略 歴

- 1996年 徳島大学歯学部卒業
- 2001年 東京大学大学院 医学系研究科外科学専攻口腔外科修了  
東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科  
明海大学歯学部口腔外科学第2講座助教  
東京大学医学部 臨床ゲノム診療部  
埼玉医科大学国際医療センター 包括がんセンター非常勤講師
- 2019年 国際親善総合病院NST連携歯科  
医療法人社団慶実会グレースデンタルクリニック



志田 裕子  
しだ ひろこ

医学博士  
日本口腔外科学会専門医  
日本小児口腔外科学会指導医

## 入院患者さんをサポートいたします！

昨年7月より栄養サポートチーム（NST）と連携し、入院患者さまの歯科治療を担当させていただいております。国際親善総合病院に歯科はないため、連携の歯科医院より往診という形で治療を行っています。

歯科治療というと、虫歯や入れ歯などのイメージがあるかと思いますが、それだけではありません。入院中は、実に様々なお口のトラブルが起こり、回復が遅れてしまうことがあります。

お口の中には、歯の周りや舌の上、頬の裏側などに約700種類の細菌が住んでいます。みがき残しや唾液の成分、細菌などの塊であるデンタルプラークには、1gあたり100億〜1,000億個の細菌がいます。健康に過ごしている時はあまり気になりませんが、治療が必要な病気にかかると、これが悪影響を及ぼします。

手術のために全身麻酔を行う際には、お口や鼻から呼吸のための管を入れます。その管をつたって細菌が入り込むと肺炎を起こします。抗がん剤など、お薬を用いた治療では、その副作用として口腔粘膜や顎の骨に炎症を起こすことがあり、食事がとりづらくなるだけでなく、炎症部分から血管内に細菌が入り込み、菌血症を起こします。

脳卒中などでは誤嚥のリスクが上がります。また咽頭にも分泌物が増えてきて、さらにお口の中が汚染されます。人工透析の方や肺炎で入院された方には口腔乾燥があり、味覚の異常が起こることがあります。

これらの予防や、症状をやわらげるためには、入院早期からケアを含めた口腔機能管理を行うことが重要で、多職種病院スタッフと連携しながら歯科衛生士と共に治療を行います。

この他にも、顎関節の治療、歯が原因で心臓の組織に炎症が波及した場合の治療、唇や歯の外傷などは病棟内で行える範囲ですが口腔外科手術も行っております。

NSTとの連携で診療が開始されましたが、現在では産婦人科、ICU、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を含む、すべての病棟の入院患者さんからご依頼をいただいております。今後も泉区をはじめ、地域の歯科医師会の先生方と共に国際親善総合病院での治療がより円滑に行われますよう、縁の下の力持ちとなって皆さまを支えてまいります。

最後になりますが、歯科治療は時間がかかり、入院してからは間に合わない場合もございます。どうぞ普段から、かかりつけの歯科にて治療を受けていただきますようお願い申し上げます。

1月1日(水) みなさまに幸せが訪れますように

しんぜん神社

新年に外出できない患者さんのために病棟スタッフが、しんぜん神社を立ち上げました。入院患者さんとお見舞い・面会者の方々に向け、おみくじを設置し、参拝の雰囲気を感じていただきました。今年もより良い入院環境が提供できるように職員一同頑張っております。



1月6日(月) 心機一転

年賀の会

毎年慣例行事である年賀の会で、法人理事長と病院長からスタッフへ新年の挨拶がありました。今年は国際親善総合病院が弥生台に移転してから開院30周年の節目の年になります。これまで以上に地域の方々に安定して医療を提供できるように職員一丸となって患者さんの支えになっていきます。



2月3日(月) 未来の名医へのステップ

研修医卒業発表

初期臨床研修医が2年目の集大成として卒業発表を行いました。来年度からは後期研修医として他病院へ勤務となります。国際親善総合病院での2年間の研修成果を発揮して、これからたくさんの患者さんのために良質な医療を提供していただけることを願っております。



2月18日(水) 特定認定看護師になるために

特定行為研修開校へ向けて

2020年2月に特定行為研修指定研修機関に指定されました。4月から開講する特定行為研修に向けて備品のセットアップを行いました。受講者の方たちがより良い研修となるように病院全体でサポートしていただけるように尽力していきます。



INFORMATION 国際親善総合病院よりお知らせ

健康懇話会と しんぜん院外健康教室 について

2020年4月からの健康懇話会およびしんぜん院外健康教室は、新型コロナウイルスの罹患リスク低減のため、開催を検討しているところです。

開催予定は病院ホームページの「病院のお知らせ」や院内掲示にてお知らせする予定です。

またご不明点がございましたら下記までお問い合わせください。

ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。



国際親善総合病院 総務課  
TEL : 045-813-0221 (代)

分娩を迎える方々へ



暖かな春の陽気と共に、今年度がスタートしました。今春、当院は分娩を再開してから3年が経ちました。これまで700人を超える赤ちゃんが元気な産声をあげており、スタッフ一同大変嬉しく思っております。当院は、予約制で無痛分娩を行っており、出産された方

Instagram 2C病棟 インスタグラム



ご好評いただいております！是非ご覧ください。

の満足度調査(2019年上期)では「大変満足・満足」が97%と非常に高い評価をいただいております。今年度もより一層、安心安全な出産を目指して2Cスタッフ一同精進いたしますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

✓内科 ✓皮膚科 ✓呼吸器科 ✓循環器科

# やまうち内科皮膚科クリニック

相鉄いずみ野線  
いずみ野駅  
相鉄ローゼン側下車  
徒歩2分



やまうち くにのこ  
山内 邦彦 院長

生活習慣病の診療、がんの検診、皮膚の病気など地域の医療に携わっています。横浜市の特健診は40歳以上の市民に加え、75歳以上の市民も健診を受けられるようになり、前立腺がんを見つけるための前立腺特異抗原（PSA）、インフルエンザや肺炎球菌ワクチンの予防接種も行っています。重症の患者さんは、その日に設備ある総合病院に送るよう心掛けています。特に国際親善総合病院の先生方は、突然の紹介患者さんも快く受け入れていただき、丁寧なご報告をいただき、大変心強い安心感をいただいています。

内科は、手術以外はほとんどの臓器の病気と繋がりがあがる診療科です。患者さんの多くは高齢者で、一人の患者さんが多くの病気を持っておられるため、さまざまな症状や訴えを良く聞きわかりやすく説明するよう心掛けています。

健康寿命を延ばし、がんなどの病気を早期に発見できるよう努めています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~11:45	○	○	○	/	○	○	/	/
午後 15:30~17:45	/	○	○	/	○	/	/	/

休診日：木曜・日曜・祝日・土曜日午後は休診となります。

各種診察：基本健診、心電図、肝炎ウイルス検査

保有機器：スパイロメーター、迅速HbA1c測定器、液体窒素



## やまうち内科 皮膚科クリニック

〒245-0016

横浜市泉区和泉町6206-2

プリモいずみ野1F

TEL：045-806-6123



## 新型コロナウイルス

(COVID-19) における 当院の対応

### <ご来院の皆様へのごお願い>

- ・体温測定  
ご来院の方全員に正面玄関および北口にて検温させていただいております。
- ・面会制限は変動しますので詳しくはホームページでご確認ください。

### <受診の方へ>

- ・当院は新型コロナウイルス（COVID-19）の検査はできません。
- ・発熱や呼吸器症状（咳・たんなど）がある方につきましては、必ず事前にご連絡・ご相談の上でご来院頂きますようお願いいたします。
- ・ご来院時、発熱などの症状がある場合は、お申し出ください。
- ・咳が出る場合はマスク着用をお願いいたします。
- ・こまめな手洗いをお願いいたします。



### <<病院の取り組み>>

- ・職員は手洗い、手指消毒の徹底をします。
- ・サージカルマスクの着用をします。
- ・医療上必要な場合は、手袋、エプロン、アイシールド（眼の保護）等の防護具を着用します。
- ・施設内の環境消毒を強化しています。
- ・就業前の体温測定及び健康チェックを実施しています。

# 入退院支援室の紹介

### ●入退院支援室の役割

団塊の世代が75歳以上となる2025年に迎える超高齢化社会の中で、医療が必要、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるようにサービスが受けられるシステムを構築していくことが必要となっています。そのシステムの中に病院も含まれており、入退院における支援を行うことが入退院支援室の役割です。

入退院支援室は、

- ・退院調整看護師……………4名
- ・医療ソーシャルワーカー…3名
- ・事務……………2名

で構成されています。

### ●入退院支援とは？

入退院支援は入院予約を行った時から始まっています。外来時に入院前の生活状況の聴取や検査・手術の説明を行いスムーズに治療が開始できるようにしています。

入院されてからは患者さんとそのご家族の思いをお伺い



入退院支援室スタッフ

### ●入退院支援の目標

患者さんやその家族が安心・納得して住み慣れた地域で療養や生活を継続できること。

患者さんとその家族にとって残された時間をどう過ごすか、できる限り意向に沿った形で支援、どう生きるかを支えること。

を目標とし日々活動しています。

突然の入院等で不安な気持ちでおられると思います。退院後の生活の不安等を軽減できるよう入院してすぐにお声かけいたしますので、ぜひご相談ください。

## 地域医療連携部

## 自己紹介リレー



入退院支援室看護師  
和智 理恵

入院中から退院後のことを一緒に考えて、患者さんの生活をその人らしく整えることが私達の仕事です。長く在宅看護に携わってきた経験を生かし病院から地域への橋渡しのお手伝いします。

